

楽天農業株式会社の取り組みについて

2023年

Rakuten Farm 楽天農業株式会社について

楽天農業株式会社は **Rakuten** の農業生産、農業研修部門、加工品製造を担っている楽天グループの農業法人です。

※2007年よりオーガニック野菜を栽培、今年で17年目になります。現在、有機JAS認証を取得し、創業からこれまで100品目以上の有機農作物を栽培しています。

有機JAS



農薬
不使用

化学肥料
不使用

遺伝子組み換え
技術不使用

※有機JASのガイドラインで認められた肥料・土壌改良資材・農薬を除く

【会社概要】

(社名) 楽天農業株式会社

(所在地) 愛媛県大洲市新谷乙335-1

(代表取締役) 遠藤 忍

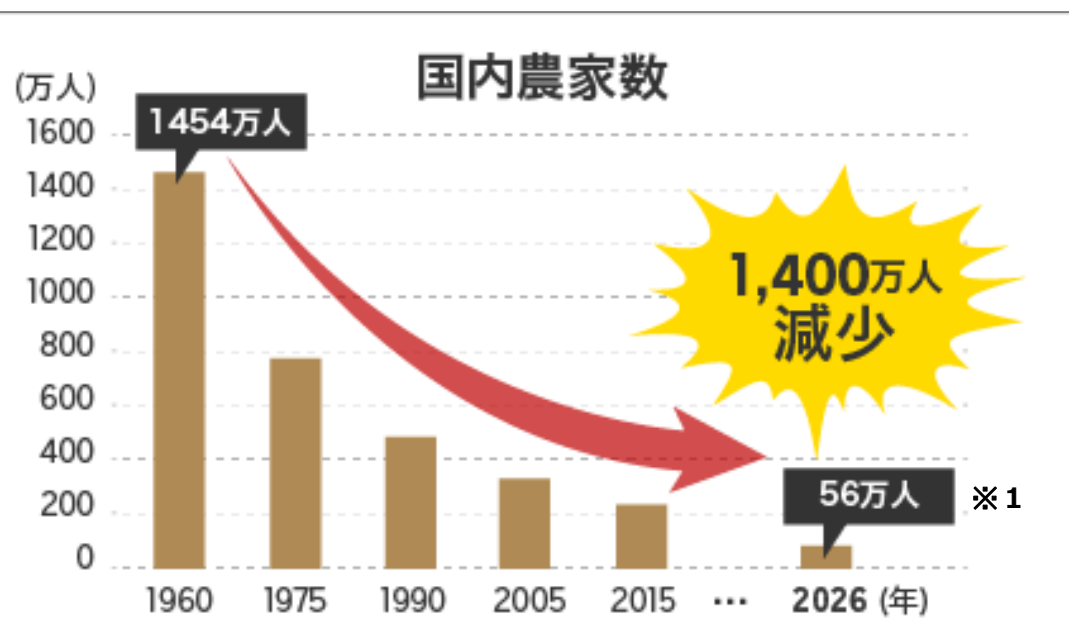
(従業員数) 116名 ※パート含む

《なぜ楽天が農業なのか？》

日本の農業の現状

急減する農家数

農家の**70%が65歳以上**、**平均年齢約68歳**(2020年)と高齢化。
かつて1454万人いた日本の農家は2026年約56万人と推定。



(推定値)

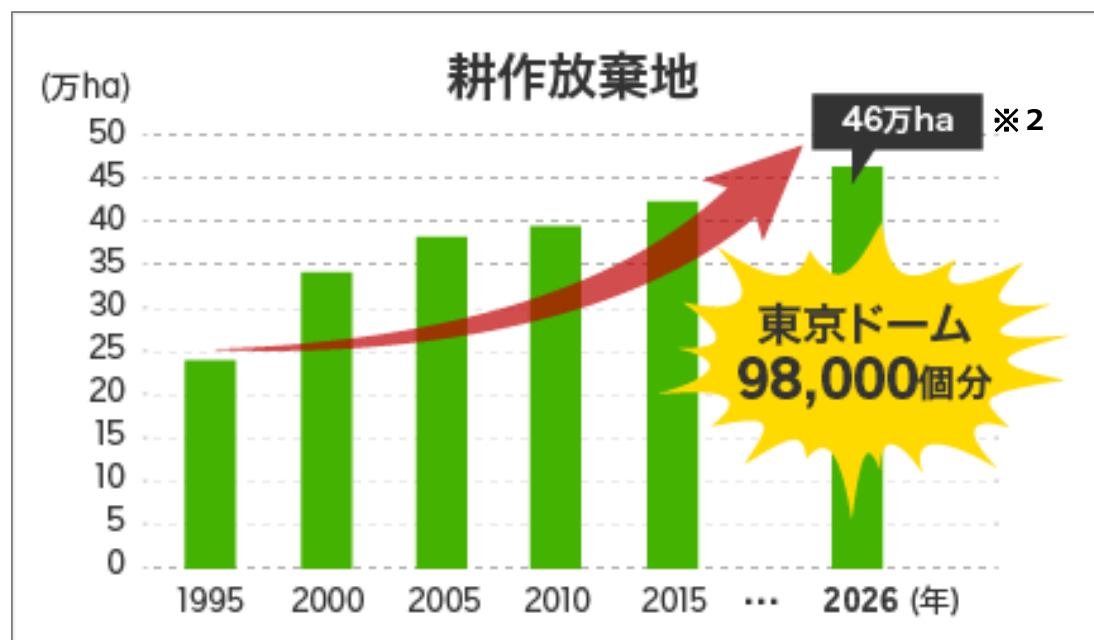
農水省「食料・農業農村白書の概要」「農林業センサス年齢別農業就業人口」参照

https://www.e-stat.go.jp/stat-search/files?page=1&layout=datalist&toukei=00500209&tstat=000001016170&cycle=08&tclass1=000001112708&tclass2=000001112708&cycle_facet=tclass1%3Atclass2&tclass3val=0

※1：農業従事者の平均年齢70歳以上で引退すると仮定し直近の新規就農増加数をもとに算出

増大化する耕作放棄地

後継ぎのいない農地がどんどん荒地となり、
2026年耕作放棄地は東京ドーム約98,000個分と推定。



(推定値)

農水省「荒廃農地の現状と対策について」参照

※2：2026年データは直近の上昇傾向をもとに算出

CONFIDENTIAL

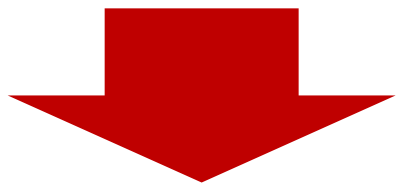
次世代を担う農家がない！
何とかせんといかん！
このままでは国産野菜が、
食べられなくなってしまうかも。



《楽天農業のミッション》

新規就農者を増やさないといけない！

**楽天農業株式会社は
農作物を作る会社ではありません。
農家という起業家を作る会社です！**



**《我々のミッション》
地域に多くの農業法人・農家を輩出、地域を農業で元気に！**

楽天農業の 挑戦①

ITでの 農業支援

Rakuten Ragri

一次産業である農業を、農作物栽培サービス（3次産業）変えることで、**農業に毎月の安定収入**をつくる。

<https://agriculture.rakuten.co.jp/farm/>



インターネットを使って農家に契約栽培してもらおうという
新しい消費者サービス「Ragri」の提供。

楽天農業の 挑戦②

加工による 農業支援

地域で何をを目指すのか 耕作放棄地を拠点として地域で展開する6次化事業

オーガニック農作物の栽培
(新規就農者の育成)



オーガニックサラダ工場の設置



オーガニック農場の運営

耕作放棄地対策

新規就農者の育成

農業6次化

加工工場の設置

農業の高収益化

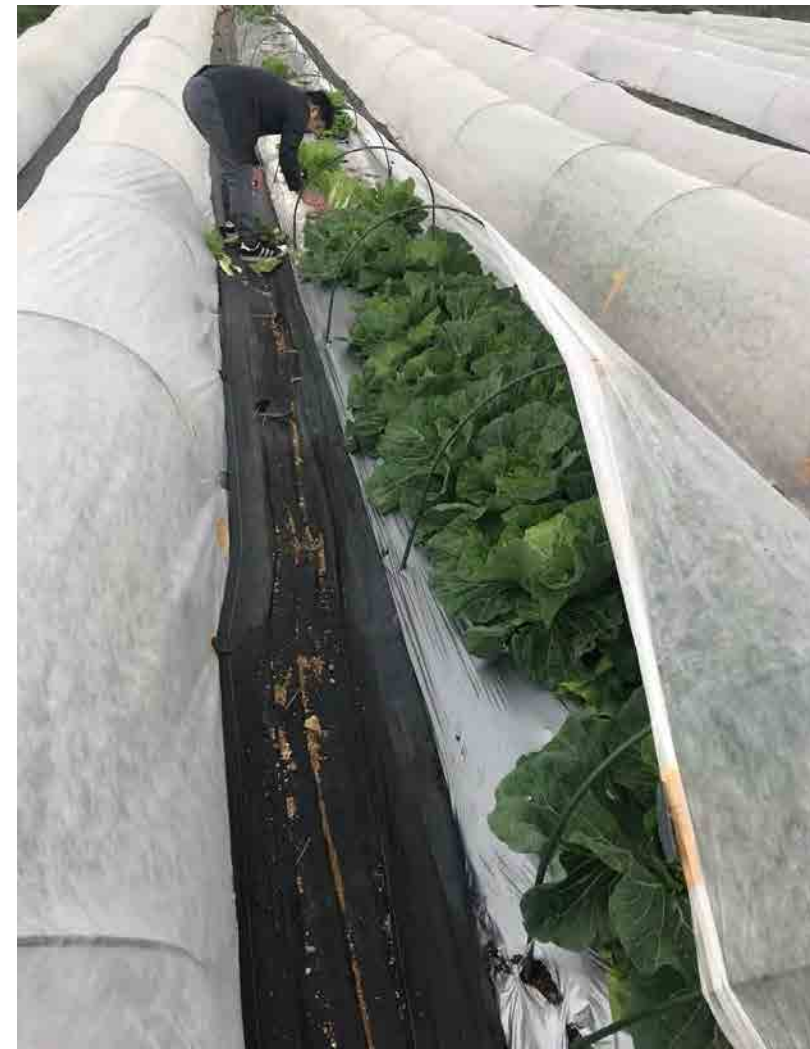
雇用創出

加工による農業支援
(農作物の規格外対策、新規就農支援)

地域の悩みの種になっている耕作放棄地



耕作放棄地を開墾、オーガニック圃場に再生！



農業の課題

- ・ 不安定で低収入
- ・ 規格外対策
- ・ 農作物廃棄の改善

加工による農家支援

365日いつでも農家から農作物を
買い支える体制の構築

- ①有機カットサラダ工場の運営
- ②有機冷凍野菜工場の運営



《加工による農家支援》 オーガニックカットサラダ、オーガニック冷凍野菜

オーガニックカットサラダ



冷凍野菜



冷凍スムージーキット



《生産拠点について》

- 愛媛県：農場 20.4 ha・カットサラダ工場・冷凍食品工場（大洲市・内子町）
- 広島県：農場 5.2 ha（神石高原町）
- 静岡県：農場 54.6 ha（御殿場市・伊豆の国市・伊豆市）
- 山口県：農場 58.4 ha（長門市・下関市）
- 島根県：農場 36 ha（邑南町・浜田市・大田市） ➔ 24年にかけて71ha規模へ



愛媛県大洲市冷凍工場



静岡県御殿場市農場

耕作放棄地を再生した農地に！
農業を志す若者たち全国から、たくさん集まってきました！
冷凍工場を一つ立てると100haの耕作放棄地が減り、100人の雇用が生まれます！



オーガニック栽培の新規就農者を増やすために

新規就農のハードル

●土地が借りられない

(農地法的に**農業経験**と**安定した売り先**が必要)

対策)
従業員として雇用

農業経験の場を提供
輩出した農家を
加工工場で買い支え

●お金が借りられない

対策)
地方銀行と事業提携

新規オーガニック農家
向けの農業ファンドを
設立

愛媛銀行と楽天農業の業務提携（えひめ一次産業応援ファンドでの連携）



愛媛銀行

Rakuten Farm

1. 開始日

2020年4月24日

2. 業務提携の目的

お互いの強みを生かして農業分野における相互連携を図り、双方が有する情報やネットワークなどの知的・人的資源を活用しながら、オーガニック野菜の普及および販路開拓支援、えひめ一次産業応援ファンド※等を活用した資金調達支援、その他付随業務などを推進する。

※ えひめ一次産業応援ファンド：当行が出資している地域の有望な第一次産業に関わる企業等へ投資するファンド。

新規就農者を支える投資ファンドの創設

オーガニックの新規就農者を増やすための取り組み

《楽天農業のミッション》

新規就農者を増やさないといけない！

①人材育成



技術面で苦しむ新規就農希望者を農家社員として雇用し、
農業法人の社長になりえる人材になるまで育成

②資金支援



資金面で苦しむ新規就農法人としての独立の必要資金を、
地元地方銀行と連携した農業ファンドの投資で支える。

③全量買取支援

規格で苦しむ新規就農者を自社のオーガニックの冷凍工場、
カットサラダ工場に365日買い支える。

インキュベーションファーム

Rakuten Farm の挑戦：新規就農者の育成・支援

夢、志はあるけれど・・・

農業技術が足りない

資金はどうしたら？

農地取得は？

助成金って？

農機具は？

知識がなくて不安

経営ノウハウがない

どこに売りに行けばいいの？



全力で支援します！

知識と技術を教えあう仲間



農作業での助け合い



農地提供



共用農機具



行政情報
助成金取得支援



加工、製品開発

Rakuten Farm



検査、認証取得

スタートアップのインキュベーションオフィスの農業版：農家という起業家を輩出！

どんぐりファーム株式会社 会社概要



【中岡昌和 略歴】

- 2018年5月 楽天農業（株）入社
- 2019年7月 愛媛拠点にて伊予農場 係長昇進
- 2021年7月 楽天農業（株）退社
- 2021年9月 どんぐりファーム株式会社設立

【どんぐりファーム 会社概要】

社名 : どんぐりファーム株式会社
代表取締役 : 中岡 昌和
本社住所 : 愛媛県伊予市中山町出渕
設立 : 2021年9月
経営面積 : 21年～ 1.2ha （大洲市）
22年～4.4ha （大洲市・内子町）



農水省 新戦略「みどりの食料システム戦略」

新たな脱炭素の観点から有機農業の推進！！

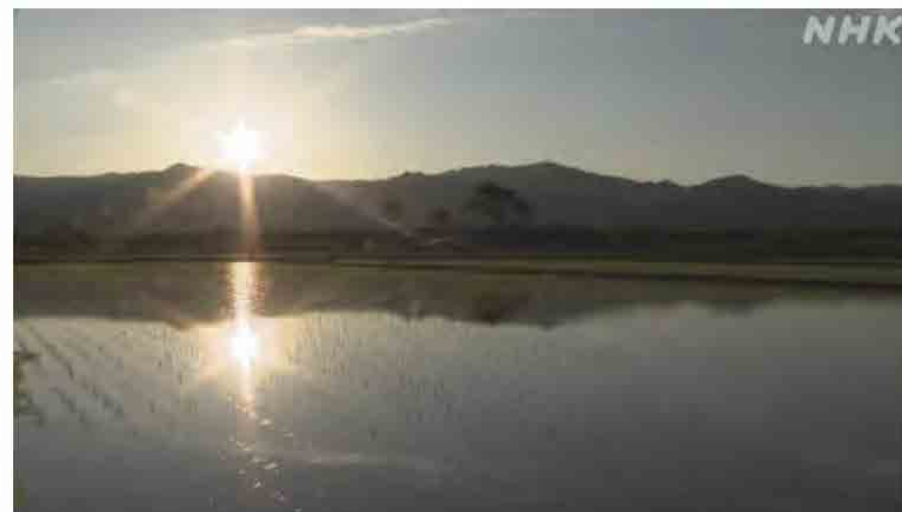
■ 2050年に目指す姿

✓ 有機農業：面積割合25%、100万ha

✓ 化学農薬使用量：50%低減

✓ 化学肥料使用料：30%低減

農林水産省「みどりの食料システム戦略」3/29中間取りまとめより抜粋

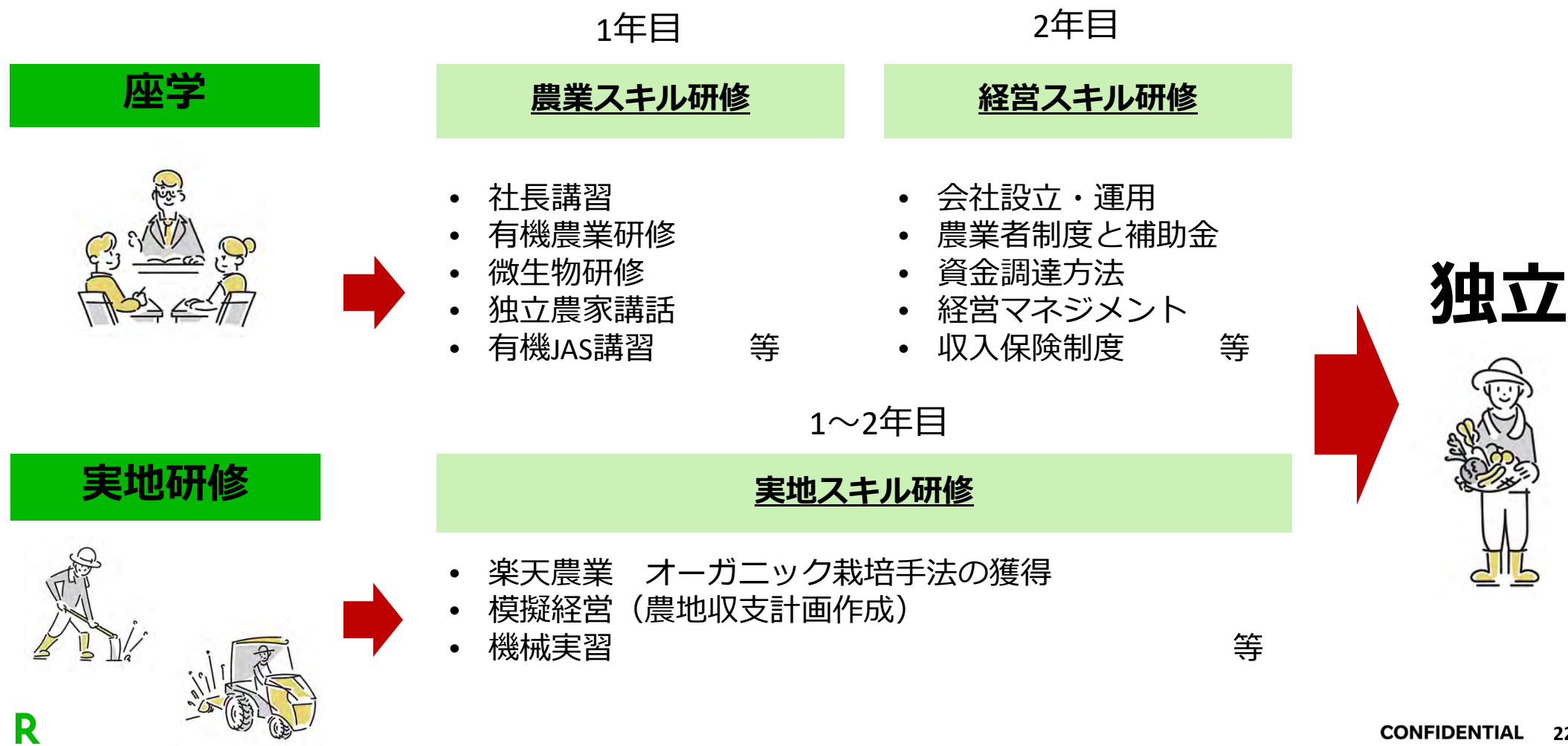


有機農業を農地の25%まで拡大へ 脱炭素で 2050年までに 農水省

2021年2月27日 6時33分

脱炭素への取り組みが世界的に加速する中、農林水産省は化学肥料や農薬を使用しない有機農業の拡大に向けてかじを切ることになりました。2050年までに、有機農業の面積を国内の農地の25%にあたる100万ヘクタールまで拡大することなどを新たな戦略に盛り込む方針です。

独立農家輩出に向けた研修カリキュラムについて



Rakuten Farm

APPENDIX

これまでの取り組み実績について

愛媛県大洲市での取り組み



地域の悩みの種になっている耕作放棄地

耕作放棄地を開墾、オーガニック圃場に再生！



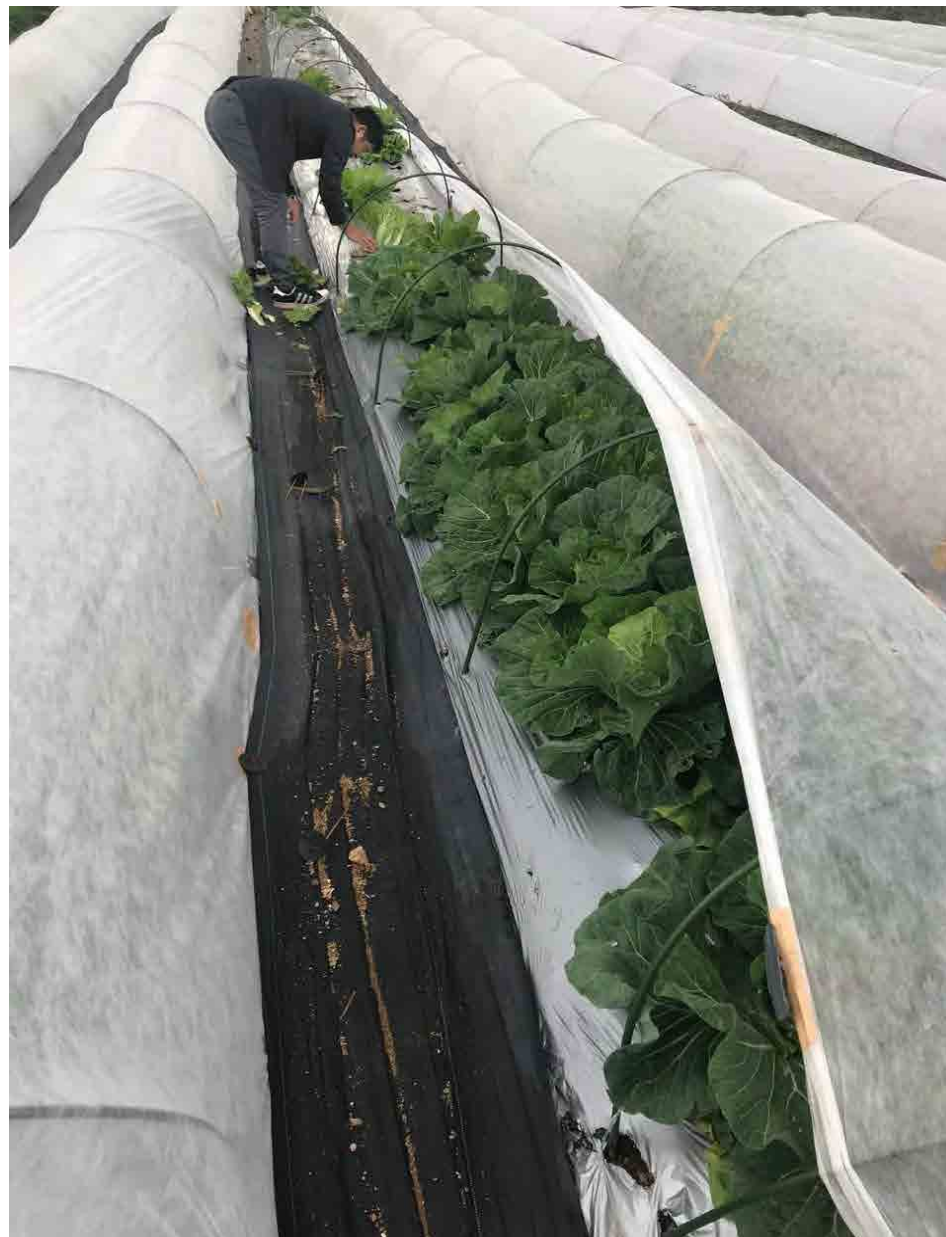
耕作放棄地を開墾、オーガニック圃場に再生！



耕作放棄地を開墾、オーガニック圃場に再生！



**独自の農法による農薬化学肥料を使用しない
オーガニック野菜の大規模栽培**



独自の農法による農薬化学肥料を使用しないオーガニック栽培の大規模栽培



農業の課題

- ・ 不安定で低収入
- ・ 規格外対策
- ・ 農作物廃棄の改善

加工による農家支援

365日いつでも農家から農作物を
買い支える体制の構築

①有機カットサラダ工場の運営

②有機冷凍野菜工場の運営



2020年

静岡県御殿場市 40年以上、一切、耕作されていなかった

地域の悩みの種になっている約40haの耕作放棄地の再生に取り組む



御殿場市：耕作放棄地を開墾し畑に再生！



現在の御殿場農場の状況



